

【日本史探究】

<学習内容について>

我が国の歴史の流れを、下記の単元に沿って歴史的視野に立って総合的に理解し、我が国の文化の特色と伝統についての認識を深め、歴史的思考力を養う科目です。単なる暗記科目と思わず、「なぜ?」「どうして?」を意識しながら、歴史の流れや背景を意識しながら学習しましょう。

<教材について>

教科書：『高等学校 日本史探究』（第一学習社）

<レポートについて>

レポートの回数は、前・後期それぞれ6回です。

〔前期〕

第1回：「日本列島に人々がやってきた」～「飛鳥文化・白鳳文化」

第2回：「法律が人々のくらしを変える」～「受領によって地方支配が再編された」

第3回：「院政がはじまった」～「鎌倉時代のくらしと文化」

第4回：「列島全体に動乱が続いた」～「室町時代のくらしと文化」

第5回：「各地に戦国大名が現れた」～「統制されながらも人々は宗教を必要とした」

第6回：「武士の役割が変わった」～「江戸中期・後期のくらしと文化」

〔後期〕

第1回：「幕藩体制が揺らぎはじめた」～「文明開化のくらしと文化」

第2回：「日本の国境が定まった」～「政党が存在感を強めた」

第3回：「繊維産業を中心に産業は発展した」～「学問と芸術に新風が吹く」

第4回：「恐慌の嵐が吹き荒れる」～「戦争が終わった」

第5回：「日本は連合国に占領された」～「新たな戦争にまきこまれた」

第6回：「高度経済成長が終わりをむかえた」～「変容する社会のなかで」

<学習の進め方について>

教科書をすみずみまで読んで、レポートを仕上げましょう。少し考えなければ解答できない問題もありますが、ヒントは教科書に隠れているので、根気強く取り組みましょう。後期の内容は特に、扱う時代や範囲が大きくなるので、自分だけでは理解しがたいところも出てくると思います。スクーリングに来校したときなど、積極的に質問に来てください。Eテレ「高校講座 日本史」も参考になります。

<スクーリングについて>

必要スクーリング時間数は前期3時間・後期3時間です。スクーリングでは、レポートの内容を中心に授業が行われます。スクーリングの際には、教科書・筆記用具を忘れないようにしてください。基本的には提出期限日が近いレポートの内容を扱います。

<評価について>

評価は、試験成績と平常点（レポートの成績、実技成績、学習態度等）を総合して100点法で行い、30点以上を合格とします。

〔知識・技能〕

我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解できる。また、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。

[思考・判断・表現]

我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる。

[主体的に学習に取り組む態度]

我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとすることができる。また、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めることができる。